



| | |
|-------|-------------------------|
| 会社名 | J.フロント リテイリング株式会社 |
| コード番号 | 3086 |
| 代表者名 | 代表執行役社長 山本 良一 |
| お問合せ先 | 経営戦略統括部 IR・グループ広報推進部 |
| TEL | 03-6895-0178 |

2018年7月度 J.フロント リテイリング 連結売上収益報告（IFRS）**1. セグメント別売上収益（売上高）（対前年増減率：％）**

| | 売上収益(IFRS) | | (参考)総額売上高 | |
|-----------|--------------|-----------|--------------|-----------|
| | 7月度 | 3～7月度累計 | 7月度 | 3～7月度累計 |
| 百貨店事業 | ▲ 5.7 (▲5.3) | 1.7 (2.0) | ▲ 5.6 (▲5.1) | 0.9 (1.3) |
| パルコ事業 | ▲ 2.3 | ▲ 2.7 | ▲ 6.0 | ▲ 3.4 |
| 不動産事業 | 25.1 | 47.0 | 22.5 | 43.4 |
| クレジット金融事業 | ▲ 0.2 | 3.0 | 1.0 | 3.7 |
| その他 | ▲ 17.1 | ▲ 20.0 | ▲ 15.6 | ▲ 18.2 |
| 連結合計 | ▲ 7.4 | ▲ 2.7 | ▲ 6.9 | ▲ 2.2 |

※1 当社は2017年3月から国際会計基準(IFRS)を任意適用いたしております。

※2 総額売上高

IFRS売上収益のうち百貨店事業と「その他(大丸興業)」の消化仕入取引を総額に、パルコ事業の純額取引をテナント取扱高(総額ベース)に置き換えて算出しております(なおパルコ事業では2017年度から日本基準の売上高を純額ベースで算出する方法に変更しております)。

※3 大丸浦和パルコ店は7月31日の営業終了をもって閉店いたしました。百貨店事業の()内は、大丸浦和パルコ店を除く既存店ベースの数値。

※4 PARCO_ya(上野)は2017年11月4日に開店いたしました。大津PARCOは2017年8月31日の営業終了をもって閉店いたしました。

※5 本年3月から百貨店事業の大丸神戸店周辺店舗のテナントを順次賃貸借契約に変更し、売上を不動産事業に移管しております。

2. 事業別の概況**1) 百貨店事業**

- 訪日外国人客を中心に化粧品、ラグジュアリーブランド、高級時計が引き続き好調であったものの、前年に比べてクリアランス立ち上がり期間の土曜日が▲1日少ないことに加え、関西地方を中心とする上旬の豪雨や、首都圏から九州地方の広範囲に及ぶ下旬の台風12号が影響した。

なお、大丸松坂屋百貨店の免税売上高は、対前年13.6%増(客数同27.3%増、客単価同▲10.8%減)であった。

2) パルコ事業

- パルコのエンタテインメント事業における劇場の興行が好調であったものの、パルコ各店舗やヌーヴ・エイで、前年同月に比べて夏のセール期間の土曜日が▲1日少ないことや、悪天候により一部店舗で営業時間を短縮したことなどに加え、パルコスペースシステムズにおいて前年の大型内装・電気工事受注の反動減が影響した。

3) 不動産事業・クレジット金融事業・その他

- 不動産事業は、上野フロンティアタワーや大丸神戸店周辺店舗からの移管分の家賃収入が加わった。
- クレジット金融事業のJFRカードは、割賦販売手数料が増加したものの、加盟店手数料が減少した。
- その他では、人材派遣業のディンプルが好調であったものの、株式譲渡した連結子会社の売上減が影響した。

お問合せ先 J.フロント リテイリング株式会社 IR・グループ広報推進部

TEL 03-6895-0178
FAX 03-6674-7565

2018年7月度 百貨店事業 営業報告(日本基準)

1. 売上高および入店客数 (対前年増減率：%)

| | 7月度 | | 3～7月度累計 | |
|-------------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | 売上高 | 入店客数 | 売上高 | 入店客数 |
| 大丸 心齋橋店 | ▲0.9 | 11.1 | 10.1 | 16.9 |
| 大丸 梅田店 | ▲7.2 | ▲7.9 | 1.2 | ▲1.7 |
| 大丸 東京店 | 0.1 | ▲0.5 | 2.9 | ▲1.4 |
| 大丸 京都店 | ▲8.0 | ▲3.7 | 0.3 | 0.2 |
| 大丸 山科店 | ▲4.6 | ▲5.3 | ▲2.9 | ▲2.8 |
| 大丸 神戸店 (※) | ▲9.7 | ▲12.2 | 0.6 | ▲5.0 |
| 大丸 須磨店 | ▲7.6 | ▲4.6 | ▲4.8 | ▲4.1 |
| 大丸 芦屋店 | ▲2.5 | ▲3.5 | ▲1.4 | ▲2.5 |
| 大丸 札幌店 | ▲0.7 | 0.4 | 4.3 | 1.2 |
| 松坂屋 名古屋店 | ▲2.1 | ▲0.4 | 1.6 | 0.3 |
| 松坂屋 上野店 | ▲3.2 | 28.1 | 3.2 | 32.4 |
| 松坂屋 静岡店 | ▲6.1 | ▲1.6 | ▲2.9 | 1.6 |
| 松坂屋 高槻店 | ▲5.8 | ▲4.4 | ▲3.8 | ▲2.6 |
| 松坂屋 豊田店 | ▲9.7 | ▲6.5 | ▲7.6 | ▲4.2 |
| 大丸松坂屋百貨店合計 | ▲4.1 | ▲1.2 | 2.4 | 1.5 |
| 博多大丸 | ▲7.3 | ▲3.2 | ▲0.4 | ▲0.4 |
| 下関大丸 | ▲9.9 | ▲2.8 | ▲3.8 | 6.4 |
| 高知大丸 | ▲12.3 | ▲7.1 | ▲5.1 | ▲1.8 |
| 百貨店事業合計 | ▲4.6 | ▲1.5 | 1.9 | 1.5 |

- ※1 本年3月から大丸神戸店周辺店舗のテナントを順次賃貸借契約に変更し、売上を不動産事業に移管しているため、神戸店の売上高は「賃貸契約へ移管したテナントの前年売上実績を除いた実質の対前年増減率」で表示しています。参考数値として、前年に不動産事業への移管分を含めた7月度の大丸神戸店の売上は、対前年▲14.5%減、同じく3～7月度累計では対前年▲4.7%減。
- ※2 合計の前年は、大丸浦和パルコ店(2017年7月31日営業終了)と大丸神戸店周辺店舗の不動産事業への移管分を除く既存店ベース。前年に大丸浦和パルコ店と大丸神戸店周辺店舗の不動産事業への移管分を含めた7月度の増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年▲5.2%減、百貨店事業合計▲5.6%減。同じく3～7月度累計は、大丸松坂屋百貨店合計 対前年1.2%増、百貨店事業合計 同0.9%増。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高 (対前年増減率：%)

| | 7月度 | 3～7月度累計 |
|-----------|-------|---------|
| 紳士服・洋品 | ▲5.0 | 1.5 |
| 婦人服・洋品 | ▲8.6 | ▲0.5 |
| 子供服・洋品 | ▲8.2 | ▲1.6 |
| その他の衣料品 | ▲12.7 | ▲5.6 |
| 衣料品計 | ▲8.2 | ▲0.4 |
| 身回品 | ▲9.6 | ▲2.8 |
| 化粧品 | 8.4 | 25.3 |
| 美術・宝飾・貴金属 | ▲0.9 | 10.3 |
| その他雑貨 | ▲4.5 | ▲3.5 |
| 雑貨計 | 3.4 | 17.0 |
| 家具 | ▲11.1 | ▲5.8 |
| 家電 | ▲33.3 | ▲11.4 |
| その他の家庭用品 | ▲6.2 | ▲3.7 |
| 家庭用品計 | ▲7.8 | ▲4.3 |
| 生鮮 | ▲4.1 | ▲2.1 |
| 菓子 | ▲2.2 | ▲1.2 |
| 惣菜 | ▲0.6 | ▲0.5 |
| その他食料品 | 0.1 | ▲0.9 |
| 食料品計 | ▲1.6 | ▲1.1 |
| 食堂・喫茶 | ▲5.2 | ▲3.8 |
| サービス | 2.9 | 0.8 |
| その他 | ▲14.9 | ▲3.2 |
| 合計 | ▲4.7 | 1.7 |

※ 合計の前年は、大丸浦和パルコ店を除き、大丸神戸店周辺店舗の不動産事業への移管分を含めています。

3. 売上高概況

全体としてクリアランス立ち上り期間における土曜日の対前年▲1日減をはじめ、悪天候が衣料品、身回品の売上動向に影響した。一方で、猛暑によりパラソル、ハンカチなどが活発に動いた。雑貨は、訪日外国人客を中心に化粧品、高級時計が好調を持続した。家庭用品は、リビング雑貨やライフスタイル雑貨の動きが鈍かった。食品は、精肉・ハム、海産物が苦戦した。